

ごけん

平成22年 **新春**号

日本語検定 実施予定

平成22年度第1回(通算第7回)

[一般会場] **6月19日(土)**

[準会場] **6月18日(金)・19日(土)**

[申し込み期間] **3月1日(月)～5月21日(金)**

もくじ

- ごけんメッセージ 海野凧子—— 2
- ごけん情報板—— 4
- 採点室から—— 5
- ちょっぴり教えてしまいます
「日本語検定」受検テクニック!! — 6
- ごけん質問箱—— 7
- 受検団体の声—— 8
- にほごん にほんご劇場—— 10
- お知らせ—— 11
- 受検案内/プレゼント・クイズ—— 12

日本語検定公式キャラクター「にほごん」

私の「日本語事情」

日本語教師は「日本語関連ならなんでもわかる、知っている」と思われがちですが、そうでない日本語教師もたくさんいます。「私は大丈夫！なんでも答えられます！」という方もいらっしゃると思いますが、とにかく私は「そうでないほう」のうちの一人です。

もちろん日本語学校の初級・中級で教える内容なら、ある程度は頭に入っています。ところが上級クラスを教えるとなると、予習せずいきなり授業というものなかなか難しい、学生からの質問の内容も複雑になってくるので、日々いろいろなことに注意して知識を蓄えておかななくてはなりません。日本文化・日本語関連にしても、専門的なことになると調べなくては答えられない場合も多いのです。

例えば、授業と関係なく雑談をしていて

「先生、昨日テレビで相撲を見ました」
 「相撲が好きなんですか？」
 「はい。あの、先生、相撲の起源を教えてください」
 「・・・えーと・・・(汗がたらたらと流れる)」

なんてことになることもしばしばです。数年日本語教師をやっていたら、このような場面もうまくのりきるテクニックも身につけてきますが(私がどうやってしのいだかは秘密です)初級、上級に関わらず油断は大敵です。

「相撲の起源」のように、「わからないこと」

が先にあつて、本や辞書で調べればわかるものや、インターネットや新聞に載っているようなものであればあまり問題はありません。

しかし、言葉は生き物のように変化したり、新しく生まれたりするものもありますから、うっかりしていると学生の方はとっくの昔に知っていて自分だけが取り残されている、ということもあります。

少し前の話ですが、「最近の流行語といえ

ばなんでしょう？」という質問を学生にしたことがあります。すると、あまり会話が上手ではない学生が「アルバイト先で『ありえない』という言葉をよく聞きます」と言いました。今は「流行語」ではなく、よく使われる言葉ですが(それとも、もう使わなくなったんでしょうか?) 当時はまだはやりはじめて、私自身はそれまで学生が説明するような使い方では聞いたことがありませんでした。

「どんな時でも使います。電車が遅れたときも『ありえない』と言うし、瓶の蓋が開かないときも『ありえない』と言います。変だと思えます・・・」

そのときは、失礼なことに少し疑わしく思いながら「そういう新しい使い方があるんでしょう。きっと若い人が使うんでしょうね」と答えました。

するとしばらくして、どこでも聞かれるようになったのです。確かに、「ありえる」ようなことにも「ありえない」という言葉を使っていました！



©2009 Hebizou&Umino Nagiko / (株)メディアファクトリー

海野 凧子

学校で勉強した使い方とは違う「ありえない」を聞いたときの学生の戸惑いは、他人事ではありませんでした。

私が担当する「日本語教師養成講座」を受講していた大学生が「ありえない！」と言ったとき、私もぼかんとしてしまいましたから。

*

このような「流行語」が、いいものなのかそうでないのかは別にして、「言葉」を教えるということは、ただ辞書や教科書にらめっこしているだけではだめなものだと思います。しかし同じ日本語学校に長く勤務していると、学生は入れ替わるにしても毎日顔を合わせる先生や職員は決まっているし、話す内容もあまり代わり映えがしなくなってくるので、よほど注意していない限り「今までに聞いたことがない言い回し」や「流行語」を耳にする機会はありません。

そこで私は、異業種の友人からそれぞれの業界の「日本語事情」や「最近の若者の日本語の使い方」などを意識して聞き出すようになりました。

先日おもしろい話を友人から聞きました。接客を中心とする業界ではとても有名な話らしいのですが、私には初耳でとても興味深いものでした。

ある会社の新人研修でのこと。新入社員の一人が顧客との対応練習の時に「やばいです」と言ってしまいました。当然、接客にはふさわしくない、と本人も含めその場の全員が思いました。指導教官が「はい、今の言葉を丁寧に言ってください」と促すと、その新入社員は「やばいでございます」と言い直したというのです。



『日本人の知らない日本語』
 蛇蔵&海野凧子
 (メディアファクトリー)

友人曰く、「たぶん、『やばい』という言葉が誰にでも通じると思っていて、他の言い方は知らなかったということじゃないかな」とのことでした。本人に聞いたら「緊張していて思い浮かばなかった」ということもあるかもしれないのでなんとも言えませんが、このようなことは最近よくあるそうです。

自分の周りの人としか話をしないので、語彙がだんだん乏しくなっていく。そして「語彙が乏しい」ということにも気付かない。ちょっと耳の痛い、考えさせられる話でした。

*

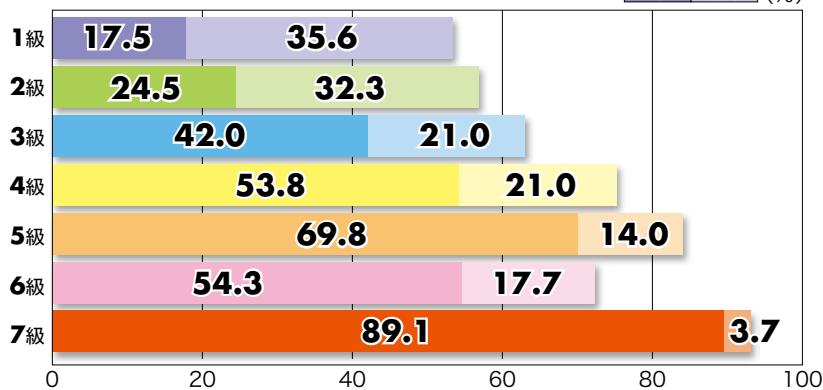
最近の日本語は外来語もどんどん増え、「ありえない」のように以前とは違った使い方をする言葉もたくさんあります。数年前は「花に水をあげる」は間違いとされていたのに、今の教科書には「花に水をやる／あげる」と二通り載っています。変化のスピードが速い日本語ですが、新しい言葉を追いかけるだけでなく、自分が知っている言葉や使用している言葉をもう一度見つめ直して、それが人に自分の考えや思いを正しく伝えられる日本語かどうかよく考えなければと思います。

海野凧子 (うみの なぎこ)
 ●日本語教師。
 2009年に出版した『日本人の知らない日本語』が大ヒット！
 blog「まめじやない日本語教師がまじめに日本語を考える」
<http://uminonagiko.blog73.fc2.com/>

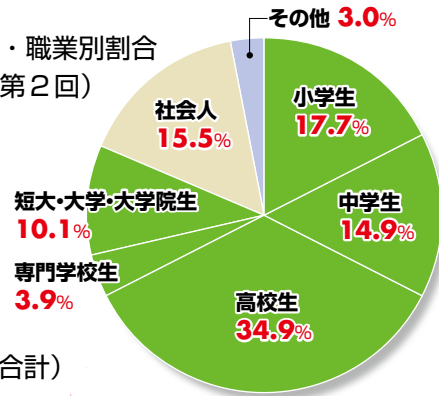
ごけん情報板

日本語検定もおかげさまで4年目を迎えます。このコーナーでは、昨年11月に実施いたしました、平成21年度第2回（通算第6回）日本語検定を中心に、各級の認定率などのデータをご紹介します。

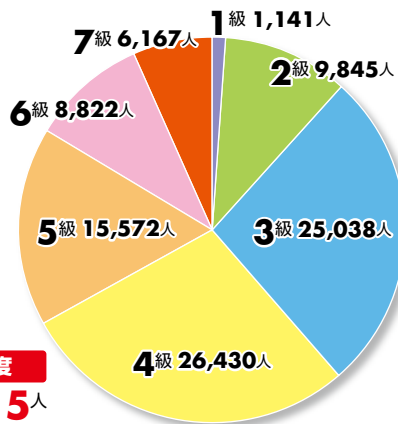
■各級の認定率(平成21年度第2回)



■受検者の学校・職業別割合
(平成21年度第2回)



■受検者総数と級別受検者数(平成21年度合計)



平成21年度
計 **93,015**人

平成21年度の受検者総数は93,015人でした。

昨年新設された7級は、初年度にもかかわらず小学校低学年を中心に多くの方に受検いただきました。

平成22年度も引き続き皆さまの受検をお待ちしています。

採点室から

21年度第2回の問題より

例によって正答率が低かった問題をいくつか紹介します。
チャレンジしてみてください。

■敬語を使った適切な言い方を選ぶ

- 【主将の自分が、新任のコーチをみんなに紹介して】(4級問題より—正答率21.6%)
今度、谷村コーチに代わって、高倉コーチが() ことになりました。
①ご指導くださる ②ご指導してくれる ③ご指導になられる ④ご指導してくださる
★①「ご指導くださる」が適切なのですが、④「ご指導してくださる」とする回答が多くありました。④は、「ご指導して」の部分が「ご～する」の謙譲表現の形になっているので不適切です。
- 【飛行機内のアナウンスで】(3級問題より—正答率35.4%)
寝ていたお客様には、お飲み物のサービスをご遠慮いたしました。
①お休みになされていらっしゃいました ②お休みになられていらっしゃいました
③お休みになっていらっしゃいました
★③「お休みになっていらっしゃいました」が適切なのですが、②「お休みになられていらっしゃいました」を選んだ人もかなりいました。②の「お休みになられ」は、「寝る」の尊敬語「お休みになる」に尊敬の助動詞「れる」を重ねた過剰敬語です。

■ある言葉を最も適切に使っている文を選ぶ

- 【名を惜しむ】(3級問題より—正答率23.2%)
①彼女の突然の引退発表に、名ソプラノ歌手としての名を惜しむ声が続々と寄せられている。
②世界のトッププレーヤーが起こした不祥事に、彼の名を惜しむ声が上がっている。
③町内の祭りの世話役として名前を借りるだけだから、名を惜しむことはないじゃないか。
★「名を惜しむ」は、名声や名誉が失われるのを恐れたり残念に思ったりすることですから、②が適切です。①のように、引退を残念に思うというような意味で使う言葉ではありませんが、これを選んだ人が多くいました。
- 【述懐する】(3級問題より—正答率65.6%)
①亡くなった祖母は、若いときに離れた故郷のことをしみじみと述懐していたものだ。
②今度の生徒会の集まりでは、会長が今年度の活動計画を述懐することになっている。
③人が自分の意見を無理にでも通そうと強硬に述懐する姿は、見ていてあまり気持ちのよいものではない。
★「述懐する」は、思い出や過去の出来事などをなつかしむように語ることです。①のようにしみじみとした語り口を言い表すことが多い言葉です。②は「今年度の活動計画を」と言っていますし、③は自分の意見を強く主張して述べている様子に使っていますから、いずれも不適切です。

■漢字の読み方(訓読み)を記す

- 景気は半年で回復するという政府の見通しについては、これを**詠**る経済学者も少なくない。(2級問題より—正答率24.0%)
- 人を**喰**して悪事を行わせるのは、それだけで罪に当たる。(2級問題より—正答率39.6%)
- 初めて見る彼女の艶やかな舞い姿に、しばし見とれてしまった。(2級問題より—正答率47.1%)
★正解は、1—いぶか(る)、2—そそのか(して)、3—あで(やか)です。2の「喰(して)」は、「だま(して)」「たぶらか(して)」「さと(して)」などの誤答がありました。同様に、3の「艶(やか)」は、「つや(やか)」とする誤答が目立ちました。

■正答率を見ての感想はさまざまでしょう。「へえ、この問題が出来る人はこんなに少ないのか」「自分が間違えた問題はやはり多くの方がまちがえているな」「これなら次は○級を受けてみよう」……などなど。
最初に取り上げた敬語の問題などは、注意すべきことは限られていますから、短時間でも復習しておけば、実力がアップすることまちがいないです。

「日本語検定」受検テクニック!!

■特定の言葉が結び付いた、慣用句

【例題】 () に入る言葉を答えてください。

- 1 人の噂話を小耳に ()。
- 2 諸悪に正義の鉄槌を ()。

(平成 21 年度第 2 回 3 級改)

慣用句とは、二つ以上の言葉が、習慣的に決まった形で結び付いて、ある特定の意味を表す言い回しのことです。日本語検定3級では、「小耳」などの言葉と、それに結び付く動詞を選んで、その意味を尋ねる問題が出ています。また、ほかの級でも、慣用句に関する問題は頻出しています。慣用句を的確に使いこなせるようになれば、表現の幅が格段に広がります。

【気を付けたい慣用句の誤用例と、正しい使い方】

- | | |
|---|-------------------------------------|
| × 食指 ^{しよくし} を伸ばす → ○ 食指が動く | × 白羽の矢を当てる → ○ 白羽の矢を立てる |
| × そっぽを向ける → ○ そっぽを向く | × 陣頭指揮を振るう → ○ 陣頭指揮をとる |
| × 二の舞いを踏む → ○ 二の舞いを演じる | × 論議 ^{かち} を醸す → ○ 物議を醸す |
| × 愛想を振りまく → ○ 愛嬌 ^{あいきょう} を振りまく | × 相槌 ^{あいづち} を入れる → ○ 相槌を打つ |
| × 喝を入れる → ○ 活を入れる | × 激を飛ばす → ○ 檄 ^{げき} を飛ばす など |

このほかにも、色についての慣用句（「朱を入れる」「白を切る」など）、数についての慣用句（「二の足を踏む」「四の五の言う」など）、体の部分についての慣用句（「胸を借りる」「肩を並べる」など）のように、慣用句はたくさんあります。本や新聞にもたくさん出てきますので、これは知らなかったというものに出会ったら、意味を確かめ、自分の語彙の中に取り込んでおきましょう。

今回のまとめ

さまざまな慣用句を駆使して、
表現力を高めよう。

(例題の答え：1 挟む 2 下す)

ごけん質問箱

回答者
日本語検定委員会 研究主幹
川本信幹

「ごけん質問箱」では、皆様から寄せられた日本語に関する質問にお答えいたします。

送り先につきましては、最後のページをご覧ください。

【金城幸枝様よりのご質問】

質問 職場で、外部からの電話に対して「〇〇は外出しております」「〇〇は席を外しております」と謙譲語を使って言っています。社内では、他の部署から電話を受けた場合、どのように言えばいいのでしょうか。「(課長の)〇〇は席を外しております」あるいは「〇〇課長は席を外していらっしゃいます」など。私は内部では尊敬語また敬称を使ってもいいと思うのですが？

回答 自分が勤務する会社の取締役から、直属上司の課長にかかった電話を自分が取った。「〇〇課長はいるかね」と。課長は、あいにく席にいない。あるいは、すぐそばの席で執務中である。

質問された方は、多分、課長が席にいないければ、①「課長は席を外していらっしゃいます」とお答えになりたいのでしょうか。課長が席にいれば、②「はい、いらっしゃいます。ただ今替わります」とか、③「はい、おいでになります。しばらくお待ちください」とかお答えになるのでしょうか。

心情的に言えば、①②③の尊敬表現で違和感はありません。ただ、社内でのこのような表現が認められるかどうかは、社内の約束事によります。社外からの電話の受け方についての約束事はどこの会社でも決まっていますが、社内に関する限りは、社外向けの形式的な謙譲表現を使うより①②③のような言い方のほうが血が通っているように思われます。特に、課長が電話を受けている自分の傍にいる場合は、②③の言い方のほうが無難でしょう。

敬語の解説書は随分たくさん出版されていますが、個々の社内事情にまで踏み込んだ微妙なケースについて解説したものはありません。同じように悩んでいる方が職場においてになるようなら、社内でも問題提起されてはいいかがでしょうか。

「日本語検定」は生涯学習の気迫で

—— 親子勉強会への取り組みを通して ——



名古屋国際中学校・高等学校参与 栗山 俊夫 先生

改正教育基本法第3条に、「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」として、生涯学習の理念が明確に条文化されています。

また、新学習指導要領にも、「言葉の力」がすべての教科の礎になっていることが強調されています。

本校では、昨年度より「日本語は学力アップの土台」であると考え、中学生には4～3級を、高校生には3～2級を目標に、この日本語検定にチャレンジさせています。これによって、日本語検定のもつ敬語、文法、表記、語彙、漢字、言葉の意味のどの領域がどこまで伸びてきたかを確かめています。「確かな日本語力」に自信がついた、「思いやりのある国際人の育成」は本校の目標でもあります。また、語検を生涯にわたっての「頭脳バトル」としてとらえ、「正しく美しい日本語の実践」が家族間のコミュニケーションの中から育まれることを願って、準会場への参加を親子でと呼びかけています。保護者の間からも、正しい日本語のあり方を再認識することができるとともに、家族間でのコミュニケーションの中身が豊かになり、相手を意識して話す「言葉」の魅力にとても有意義であると好評です。

日本語検定が国民一人一人の人格を磨き、日本語のコミュニケーションを通して豊かな人生を送ることができるきっかけに寄与されることを心より期待しています。

心が発する声を「言葉」にすること

山梨学院大学附属小学校 教頭 小林 智芳 先生

よりよい人間関係を築いていくうえで、「言葉」は大きな役割を果たしています。「言葉」を自分の思い通りに使えない子は、友だちとの関係、大人との関係を上手に作っていくことに苦戦しがちです。そのような子たちは、何か問いかげられると、一様に「べつに」とそっけなく答えます。あるいは、自分の気持ちを思ったように伝えられない子たちは、沈黙するか、あるいは乱暴な行動をとってしまうかもしれません。「子どもたちの沈黙や乱暴は、不安でいっぱい心が発する声、それとときに助けを求める声である」と語る教育学者もいます。



日本語検定に期待するもの

岩手県 花巻東高等学校 中 順子 先生

平成21年度本校では2、3年生全員が「日本語検定」を受験しました。昨年度までは年2回、「漢字能力検定試験」を受験しておりましたが、そのうちの1回を「日本語検定」にしました。

古文の授業で「敬語」を教えますが、以前にもまして定着しません。それは生活の場面で「敬語」を使う経験がないからであって、生徒たちは何のために「敬語」が存在するのか分からないのです。今回団体受験するにあたり、2、3年生全員に問題集（『ステップアップ日本語講座』）を持たせましたが、特に「敬語」についての説明が分かりやすく好評でした。「敬語」の意味を理解でき、日本語の豊かさを実感することができたのだと思います。また、表紙を本校職員が撮った写真にさせていただき、生徒たちには「うちの学校のために作ってもらった」と言ったものだから、がぜんやる気を出しました。まずは夏休みの宿題とし、テストも2度実施しました。11月の試験の結果を、生徒も私も楽しみに待ちました。

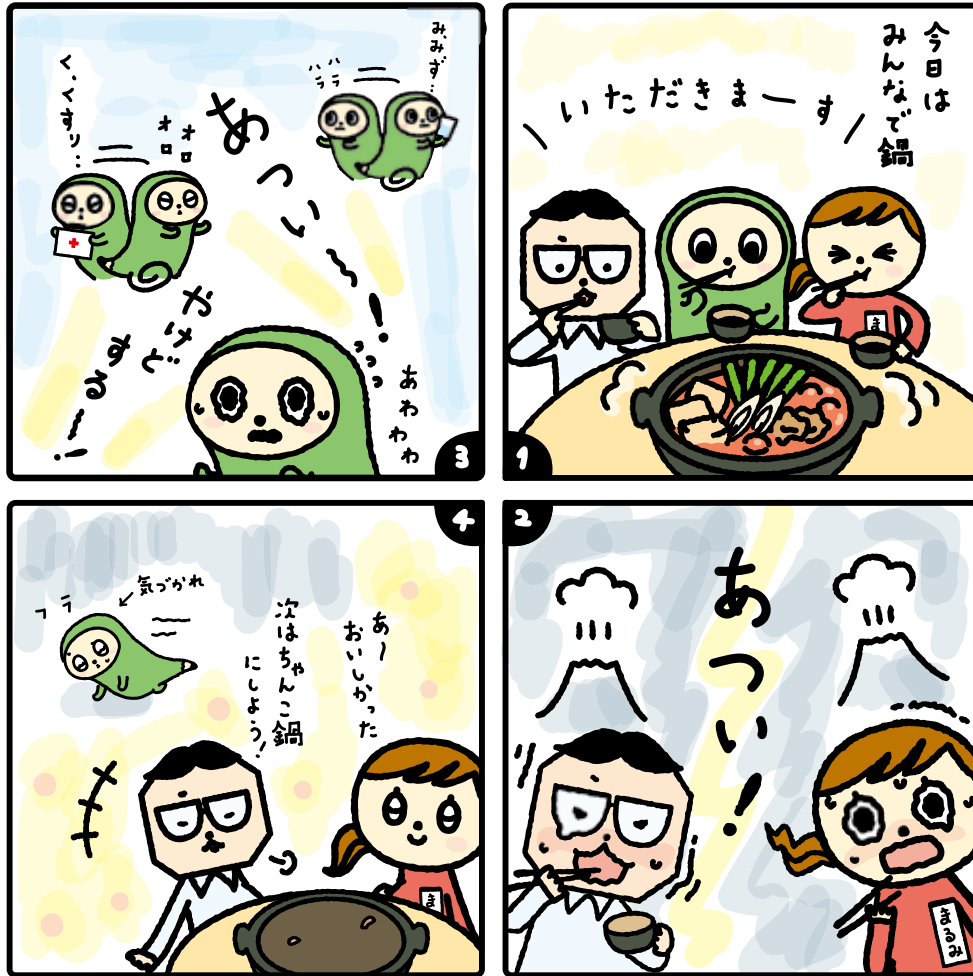
先頃、新聞の一面で児童・生徒の暴力の増加が報道されました。識者によって様々な分析がなされていましたが、自分の思いを表現できない子どもたちがいかに多いかということの思い知らされました。確かに一昔前と比べて、いま目の前にいる生徒たちは衝動を抑えることができません。彼らはクラス、クラブ、友人、家族の世界で社会性を培ってきてはいるものの、クラブや地域の活動に所属していない者、友人や家族との関係が希薄な者の関心は生身の人間ではなく、アニメやゲーム、そして携帯電話の世界に大きく傾いています。新聞や本を読まない、テレビもバラエティーだけ、といった家庭に育つ生徒らのコミュニケーション能力は著しく未発達で、日本語を操る能力も然りです。そのような生徒たちに就職、進学試験に備えてにわか仕込みで面接指導をしても、自分の思いを言葉にできない、相手に分かるように伝えることができないのは必然です。

生徒たちには他者との関わりを深め、世界と出会い、自己の新たな価値に気づき、成長していくことこそが「学ぶ力」だと言っています。「日本語検定」への取り組みが、言葉の幅を広げ、自分自身も、そして関わる全ての人をも豊かにする「学び」の人生への第一歩となることを祈っています。

子どもたちの「心が発する声」を相手に伝わる「言葉」にかえていく学びの場を、教育の現場ではもっと大切にしていけないといけなのでしょう。それは、相手が話す言葉を、その相手のおかれた立場や状況、そして自分との関係性を視野に入れて聞くことです。そうすれば、たとえ相手が「言葉足らず」であっても、話の内容をほぼまちがいがなくとらえることができます。言い換えれば、相手の立場や状況を視野に入れて傾聴しないかぎり、相手がいかに豊富な語彙を多用していたとしても、話の内容を正しく理解することはできません。

心が発する声に重なる言葉を使うためには、単に語彙を増やし語法を覚えるだけではなく、生活の中で「相手」の心を感じ取る力を高めていくことが不可欠であると感じています。その点、日本語検定では出題内容を、相手の立場や状況を視野に入れることを大切に生活の場面に求めています。生きた言葉を学ぶ機会として、そして豊かな心を育むきっかけとして、日本語検定に大いに期待しています。

にほんご にほんご劇場



絵：福政真奈美



「喉元過ぎれば熱さを忘れる」

(熱いものも、飲み込んでしまえば熱さを忘れてしまうことから)

苦しかったことや、その時に受けた恩も、過ぎ去ると簡単に忘れてしまうということ。

例 あんなに世話になった人を裏切るなんて、喉元過ぎれば熱さを忘れるとはこのことだね。

日本語検定委員会が協賛する「日本語大賞」の受賞作品が決定しました。

日本語大賞は、東京書籍の創立 100 周年記念事業として創設された作文コンクールです。第 1 回となる今回のテーマは「人と人をつなぐ日本語」。

1833 点の応募作品の中から、部門ごとに以下の作品が選ばれました。

大学生・専門学校生・一般の部：最優秀賞 加藤 宣彦さん「島ことばに残る美しい日本語」(ほか優秀賞 4 点)

高校生の部：最優秀賞 岡部 憲和さん「ある職人のことば」(ほか優秀賞 5 点)

中学生の部：最優秀賞 宮原 卓熙さん「かたことの日本語が伝えるもの」(ほか優秀賞 6 点)

小学生の部：最優秀賞 佐藤 優里佳さん「心に残る母の『う・・・ん』」(ほか優秀賞 10 点)

詳細は、下記 URL をご覧ください。

<http://www.tokyo-shoseki.co.jp/nihongo/>



TOPPAN

印刷博物館。

ここには、人類の知と創造へのエネルギーがあふれています。

 **printing** museum Tokyo
印刷博物館

〒112-8531 東京都文京区水道1丁目3番3号
トッパン小石川ビル
TEL: 03-5840-2300 (代)
<http://www.printing-museum.org/>

110th anniversary

トッパンは、印刷文化の普及と、日本語力の向上に取り組んで参ります。

ひとり、ひとりに情報のカタチを。



ひとり、一人に、「伝える」こと。

一人、ひとりに、「伝わる」こと。

明細票や宅配伝票など
誰もが利用しているビジネスフォーム。
私たちは、ビジネスフォームの
トップメーカーとして情報をデザイン
することで社会と繋がっています。

トッパン・フォームズ株式会社
本社 〒105-8311 東京都港区東新橋1-7-3 TEL.03-6253-6000 <http://www.toppan-f.co.jp/>

TOPPAN FORMS

平成22年度 第1回 日本語検定 受検案内

- [一般会場] **6月19日(土)**
[準会場] **6月18日(金)・19日(土)**
[申し込み期間] **3月1日(月)～5月21日(金)**
[実施都市] 全国の100都市以上で実施予定

[受検級の目安と受検料]

受検級	受検料	社会人	大学生	高校生	中学生	小学校 高学年	小学校 中学年	小学校 低学年
1級	6,000円							
2級	5,000円							
3級	3,500円							
4級	2,000円							
5級	1,500円							
6級	1,500円							
7級	1,400円							

※1級の受検は、準1級または2級認定（認定証の発行から満5年以内）が条件となります。

公式ホームページ <http://www.nihongokentei.jp>

プレゼント・クイズ

問題：「にほんご にほんご劇場」で、取り上げたことわざは何でしょうか。

○○の部分を補って完成させてください。

『喉元過ぎれば○○を忘れる』



はがきに、クイズの答えと、お名前、性別、年齢、ご住所、ご連絡先（お電話またはメールアドレス）を明記のうえ、右記日本語検定委員会までお送りください。抽選で20名様に、日本語検定委員会特製にほんごストラップをプレゼントいたします。平成22年5月1日の消印まで有効です。

当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

（応募いただいた個人情報は、本プレゼント以外では使用しません。）

質問をおよせください！

日本語に関する質問を、お手紙やメールで、日本語検定委員会「ごけん質問箱係」までおよせください。

いただいた質問の中から、日本語検定委員会・研究主幹の川本信幹先生がお答えします。

*ご質問は、日本語検定を受検された方か、受検を検討されている方に限らせていただきます。

*日本語に関する質問以外にはお答えしかねますので、ご了承ください。

メールアドレス

info@nihongokentei.jp

特定非営利活動法人
 日本語検定委員会

〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1
【お問い合わせ先】 0120-55-2858

<http://www.nihongokentei.jp>